



# 年頭挨拶



山口県商工会連合会会長

河岡 啓太郎



発行者

山口県商工会連合会

(山口市中央4-5-16)

編集人 伊妻 稔

TEL 083 (925) 8888

FAX 083 (925) 8700

URL : <http://www.yamaguchi-shokokai.jp/>

E-mail : [shokoren@yamaguchi-shokokai.or.jp](mailto:shokoren@yamaguchi-shokokai.or.jp)

印刷所 アリフク印刷(株)

地域に夢を  
企業に繁栄を

組織強化に向けた改革を  
実行していくことが緊要となつて  
います。

店街の衰退や、少子高齢化などによる過疎化の進展、廃業事業所の増加など切迫した課題も多く、大きく変動する環境への対応が求められています。

新年あけましておめでとうございます。  
我が国経済は、戦後最長と言われるいざなぎ景気を超え、個人消費の増加など大都市圏を中心に回復を持続していると言われるものの、地域経済は依然として景気回復を実感できるものではなく、小規模企業においては、製造業を中心とした受注単価の下落による収益面の圧迫や公共事業の減少、大型店との競争等、厳しい経営環境が依然として続いています。

商工会を取り巻く環境も消費の地域外への流出に伴う商

我々商工会は地域経済に貢献する総合経済団体として、地域に根差した新たな事業展開、創業や経営革新を支援する「創業塾・経営革新塾」の開催、企業のIT活用への支援などに重点的に取り組むとともに、行政合併後の旧町村部での産業振興や地域活力の維持に重点的に取り組み、関係者が一丸となり、商工会の

県連合会では、「小規模事業者の支援機関」としての商工会の役割を再認識した上で、新たな支援システムとして、「合併体制」への移行を強力に推進しているところがあります。一昨年は「下関市商工会」、昨年は「周防大島町商工会」、「萩・阿西商工会」が誕生し、今年度は四月に新たに萩市の阿北地区及び阿武町の三商工会、岩国市の玖北地区の四商工会、周南市の熊毛・鹿野の二商工会が合併することになっており、他の地区においても商会同士の合併体制実現のため、協議が進められています。

今後、合併体制の効果により強固なものにするため業務の一層の効率化や情報の共有化を推し進め、多様な小規模企業の支援ニーズに対応すべく、職員の資質向上を図り、専門的な支援体制確保を目指して参ります。

商工会が新しい地域社会をつくる牽引力としての自覚と目標を持ち、小規模事業支援体制の再構築や必要な中小企業対策の確保、地域間格差の是正など地域活性化に向けた重要施策について行政を始め関係機関との連携を一層強化していく所存です。

地域の小規模事業者は、地域経済の重要な担い手として、雇用の確保や文化面も含めたコミュニケーションの再生など、地域社会において非常に重要な役割を担っております。



謹んで新春のお慶びを  
申し上げます  
平成十九年 元旦

山口県商工会連合会

会長 河岡 啓太郎

副会長 原田 欣知

専務理事 伊妻 稔

理事 林 忠克

大 浪 和 郎

平 岡 久 猛

福 田 昭 正

磯 崎 義 雄

田 崎 勝 昭

原 田 恵 一

清 水 靖 子

中 島 孝 親

原 田 忠 義

監 事 大 島 忠 義

Box containing the list of board members and the piggy bank illustration.

平成19年新年知事あいさつ

# 「住み良き日本一の 元気県をめざして」

山口県知事

## 二井 関成



明けましておめでとうござ  
います。

すがすがしい新春を迎え、  
県民の皆様は、謹んで新年の  
お喜びを申し上げますととも  
に、皆様にとりまして、今年  
がより良い年となりますこと  
を心からお祈りいたします。

昨年、皇太子殿下のご臨席  
を仰ぎ開催しました、国民文  
化祭は、県全体を大きな舞台  
に、県民総参加による「山口  
県まるごと国民文化祭」とし  
て、全国初となる様々な取組  
を県民の皆様との協働で進  
め、また、各市町においては、  
それぞれの「地域力」を發揮  
される絶好の機会として、多  
彩な文化イベントの企画・実  
施に積極的に取り組んでいた

いただきました。お陰をもちま  
して、目標を大きく上回る14  
4万人の来場者を迎え、本県  
の優れた文化、元気と魅力が  
全国に向け発信することがで  
きました。私は、県民パワ  
ーの結集による国民文化祭の開  
催を通じて、山口きらら博で  
培われた「県民力」や「地域  
力」を、ホップ、ステップと  
確実に高めることができた  
と考えており、この力をさらに  
ジャンプへと高め、2011  
年の山口国体の成功に繋げる  
ことよって、「住み良き日  
本一の元気県山口」の実現に  
努めてまいりたいと考えてお  
ります。

さて、我が国全体が少子高  
齢化や人口減少社会を迎える  
中、本県においても、こうし  
た人口減少社会への対応をは  
じめ、少子高齢化や中山間地  
域対策など、県政を取り巻く  
課題は山積しております。

県としても、こうした政策  
課題に的確に対応するため、  
「住み良き日本一の元気県づ  
くり」に向けた、本格的なス  
タートを切る重要な計画とな

る「やまぐち未来デザイン21」  
第五次実行計画の策定をはじめ、行政改革推進プランや中  
山間地域づくりビジョン等の  
策定、さらには、県庁の組織  
体制の再編整備等を行ったと  
ころです。

また、昨年は、多くの県民  
の皆様が待ち望んだ、本県か  
ら8人目となる安倍内閣総理  
大臣が誕生しました。

安倍総理大臣には、「強い  
地方」の実現に向け、地方分  
権改革をはじめとする諸政策  
を積極的に推進されることを  
期待しますとともに、安倍政  
権における政策がより実効性  
の高いものとなるよう、山口  
県から国に対し、地方の実情  
をしっかりと伝え、地方に対す  
る政策の充実に資する政策提  
言を積極的に行つてまいりた  
いと考えています。

さて、今年、昨年末の  
「地方分権改革推進法」の成  
立により、地方分権改革は、  
第2期へと新たな一歩を踏み  
出すこととなります。また、  
今後の国づくりの指針となる  
国土形成計画が策定される重  
要な年です。県としても、こ  
うした動きに対応していくた  
め、積極的に国等に対して意  
見や提案をしながら、同時に、  
分権型社会に対応し、自ら責  
任を持って、主体的に地域経  
営を進めていくことができる

よう、最終年度を迎える県政  
集中改革にしっかりと取り組  
みながら、将来にわたって持  
続可能な強固な行財政基盤の  
構築を図っていきたいと考え  
ています。

また、本県の重要政策課題  
である少子化対策をはじめ、  
若者の県内就職、さらには、  
2007年問題といわれる退  
職時期を迎える団塊の世代の  
U・J・Iターンの促進等への一  
層の取組の強化を図るため、  
行財政資源の「選択」と「集  
中」を一層徹底し、県民の皆  
様の「住み良さを伸ばす」、  
本県の資源や特性を生かして  
「山口県らしさを創造する」、  
人口が減少する中であつて  
も、地域の活力を高め、「人  
口減少社会に対応する」とい  
う基本的視点に立ちながら、  
「暮らしの安心・安全基盤の  
強化」をはじめ、「次代を担  
う子どもたちの育成」や「多  
様なひとが活躍できる基盤づ  
くり」、さらには、「多様な交  
流と新たな活力の創造」など  
の施策に重点的に取り組んで  
いくこととしております。

また、このたびの国民文化  
祭の多大な成果を継承し、発  
展させていくため、新たに文  
化振興条例を制定しますと  
ともに、県民の皆様が多様な文  
化芸術活動を発表する場とし  
ての芸術文化祭の創設など、

文化環境づくりにも積極的に  
取り組むこととしており、さ  
らに、4年後の山口国体に向  
けて、スポーツの振興はもち  
ろん、「花いっぱい運動」や  
「県民スポーツ総参加運動」  
など様々な県民運動や競技力  
の向上など、その開催準備に  
向けた取組を鋭意進めていく  
こととしております。

さて、今年の干支は「丁亥  
(ひのと・い)」ですが、「亥  
(いのしし)」は、危機を察知  
する能力に優れ、あらゆる難  
関を突破していくと言われま  
す。

私は、これからも厳しさを  
増す地域間競争に勝ち抜き、  
地方の時代にゆるぎない県づ  
くりを推進するため、先頭に  
立つて、常に先見性をもって、  
一歩ずつ確実に、行財政改革  
等の県政改革に取り組みます  
とともに、しっかりと軸足は  
安心・安全に置きながら、生  
活のあらゆる分野で、「住み  
良き」を真に実感できる地域  
こそ、分権時代を勝ち抜き、  
多くの県民の皆様が望まれる  
新しい県の姿であると考え、  
「住み良き日本一の元気県づ  
くり」を着実に推進してまい  
りたいと思っておりますので、皆  
方のご支援とご協力をお願い  
いたします。

## 年頭にあって



新年明けましておめでとうございませう。平成十九年の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年の我国経済は、「いざなぎ景気」を超える戦後最大の拡大局面にあると言われました。

しかしながら、商工会地域の中小企業のおかれている現状は、製造業における受注単価の引下げや、建設業における公共事業の減少、小売・サービス業における大型店やチェーン店との競争激化など引き続き厳しい状況にあります。

また、商工会も、政府の三位一体改革による小規模事業経営支援事業補助金の都道府県への全額移譲や、市町村合併に伴う商工会組織の再編、地域内商工業者の廃業の増加など、大きな変化の渦中にあります。

このようななかで、全国連では、昨年十一月三十日に第四十六回商工会全国大会を開催し、「小規模企業支援事業の確実な執

全国商工会連合会

会長 清家孝

行・支援体制の再構築」「中小企業政策、税制・金融制度等の拡充」「均衡あるまちづくりへの支援と地域間格差の是正」「会員増強運動等の取組強化」「商工会同士の合併・広域連携等による支援機能強化」の五項目を満場一致で決議したところであります。

私は、地域経済発展のため、これら決議項目の早期実現を、関係方面に積極的に働きかけて参る所存であります。

商工会が、今後とも地域の発展に貢献していくためには、商工会・県連・全国連の連携を一層強化し、これまで以上に会員へのサービス向上に努めるとともに、創業・経営革新支援や地域資源を活用した新事業展開の支援など、地域の中小企業に支持される事業を積極的に展開し、頼りにされる商工会となっていく必要がありますので、皆様の一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、全国の商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして今年が明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。  
平成十九年 元旦

鹿野町・熊毛町商工会合併協議会

会長 広本武生

を進めております。

新商工会地域の小規模企業の身近な支援拠点としてさらに会員ニーズに応え、地域住民からも期待される支援機関を目指して、経営情報の集中化、提案型の支援機能の充実に努め、地域経済の活性化に向けた牽引力となるよう、積極的に取り組んで参る所存です。

会員皆様のますますの御健勝と御繁栄を祈念して、新年の御挨拶といたします。

## 「やましろ商工会」の創立に向けて



平成十九年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

山代地域(旧玖珂郡北部)四商工会(錦・本郷・美和・美川)は、本年四月一日に「やましろ商工会」を設立することと合意し、昨年十二月八日に合併契約書に調印いたしました。各商工会の合併総会の承認を経て、現在、設立委員会を設置し、合併に向けた法的手続きの最終調整を行うところであります。

新商工会は、小規模事業者への経営支

やましろ商工会合併協議会

会長 原田孝親

援を基本とし、県・岩国市の行政施策を踏まえて、地域産業振興の牽引力として、地元ニーズに応じた役割を担っていく所存です。住民に支持され、農工商の垣根を越え地域性を生かした事業に取り組み、開かれた商工会を目指します。

県・市をはじめ関係機関におかれましては、商工会のサービス機能を高めるため、これまでと変わらぬご支援ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

協議会を代表し、会員皆様のますますのご健勝とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 「萩阿武商工会」の創立に向けて



新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

阿武町・田万川町・須佐町の三商工会は、平成十七年八月に萩阿武合併協議会を立ち上げ、平成十九年四月一日の合併に向け協議を続け、平成十八年十一月に設立委員会を設置し、県連及び関係者の支援を得ながら、現在認可手続に向けて協議を重ねているところであります。

新生「萩阿武商工会」が、地域小規模企業の支援を柱に、地域住民から支持される商工会になるよう、設立委員

萩阿武商工会設立委員会

委員長 小田倫穂

一同一致団結して頑張つていく所存です。

委員を代表し、会員皆様の御健勝と御繁栄を祈念し、併せて行政をはじめ関係各位におかれましては引き続きご支援、ご鞭撻をお願いし、新年のご挨拶といたします。



## 「周南市商工会」の創立に向けて



平成十九年のすがすがしい新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

鹿野町・熊毛町商工会では、平成十八年六月に合併協議会を立ち上げ、今年四月一日の新商工会「周南市商工会」発足に向け、県、周南市、県連合会のご支援を得て、現在急ピッチで合併に向けた準備

# 新年のご挨拶



国民生活金融公庫山口支店  
支店長 瓜生 剛也



平成19年の新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。  
皆様方には旧年中は当金庫の業務につきまして格別のご理解とご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、大企業、都市部を中心として企業実績が好調ですが、私どもの主なご融資先である中小企業、特に地方の小規模企業の景況を見る限り、依然厳しい状況にはあるものの改善傾向が見受けられます。

今年こそ地域の景況が本格的に回復し、中小企業・小規模企業の皆様のご事業にも明るい兆しが現れる年となることを心から祈念しております。

山口県内におかれましては、昨年「国民文化祭やまぐち」が開催され、144万を超える来場者を迎え大成功に終わりましたことは、県民の

皆様方のご努力の成果であると、大きな感銘を受けております。また、県内各地で地域独自のイベントが開催されたことが、地域の活性化につながることを願っております。

私も国民生活金融公庫は、経営多角化や事業転換などの第二創業を図る方に対しても積極的に融資を行いました。さらに「こくきん創業支援センター」を全国に拡大し、各地域の創業支援機関等との連携によりお客様へのタイムリーな支援を行うとともに、専門の担当者を配置してビジネスプランの作成段階からご相談に応じています。

平成20年10月には当金庫も、現在の中小企業金融公庫、農林漁業金融公庫、および国際協力銀行の国際金融部門と統合される政策金融機関に移行することになりますが、小企業への小口融資や創業支援

などの事業資金融資や教育資金貸付は新機関に承継されま

す。今後も経営の効率性・健全性・透明性を一層高めるため、事務の集中化、積極的な情報開示など引き続き自己改革を推進していきます。そして、これまで当公庫が「小企業金融の専門店」として長年培ってきた目利き能力にさらに磨きをかけ、お客様の視点に立ってきめ細かなサービスの充実に努力してまいります。

今年も当公庫業務につき、格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 「国の教育ローン」のご案内

固定金利で長期のご返済が可能です。

### ※制度のご案内※

- ☆ご融資額 200万円以内
- ☆返済期間 10年以内
- ☆利息 年利2.3%

(平成18年12月13日)

詳しくは、国民生活金融公庫各支店窓口へお問い合わせください。

- 山口支店 TEL 083-922-3660
- 下関支店 TEL 0832-22-6225
- 徳山支店 TEL 0834-21-3455
- 岩国支店 TEL 0827-22-6265

## 無担保無保証の

## マル経融資

## ご存じですか？

### ※制度のご案内※

- ☆ご融資額 550万円以内（別枠は450万円）
- ☆返済期間 運転資金 5年以内  
設備資金 7年以内
- ☆利息 年利2.2%

(平成18年12月13日)

※お申し込みは、商工会長の推薦が必要です。

※別枠のお取扱い機関は、平成19年3月31日までです。

【お申込・お問い合わせは最寄りの商工会へ】